



今月の症例

突然の腹痛～背部痛

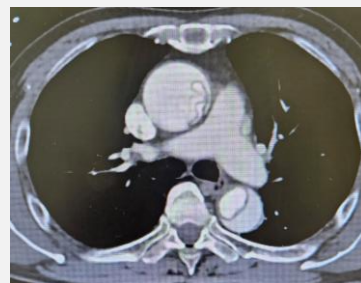
症例：72歳 男性

主訴：腹痛、背部痛

現病歴：突然の腹痛、背部痛を認め、疼痛改善ないため、救急要請。当院へ搬送。

⇒造影CT検査で急性A型大動脈解離に伴う上腸間膜動脈の閉塞

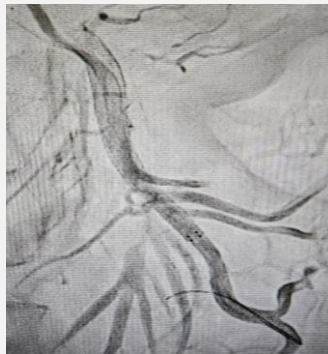
⇒循環器内科医師による経カテーテル的ステント留置による上腸間膜動脈閉塞解除を先行



上腸間膜動脈：ステント治療前



ステント治療後



閉塞した上腸間膜動脈



⇒その後上行大動脈人工血管置換術を施行 術後経過は良好 術後14日目に退院となる

*臓器灌流障害を伴う急性A型大動脈解離

A型大動脈解離による臓器灌流障害を伴う症例に関しては致死率が高いことが知られています。

特に冠動脈・脳・腸管虚血を伴う症例に関しては分・時間単位での迅速な虚血解除が必須であり、

当院では循環器内科医師と共同にて治療を行い、救命率の向上を目指しています。

文責 恩賀 陽平

当院では、正中切開を行わない
キズの小さな心臓手術(MICS ミックス)
を安全に数多く行っています

